

## 詩篇 21 篇

## 「勝利の後の賛美」

21:1 【主】よ。王はあなたの御力を、喜びましょう。あなたの御救いをどんなに楽しむことでしょうか。

21:2 あなたは彼の心の願いをかなえ、彼のくちびるの願いを、退けられません。 セラ

21:3 あなたは彼を迎えてすばらしい祝福を与え、彼のかしらに純金の冠を置かれます。

21:4 彼はあなたに、いのちを請い求めました。あなたは彼に、とこしえまでの長い日々を与えられました。

21:5 御救いによって彼の栄光は、大きい。あなたは、尊厳と威光を彼の上に置かれます。

21:6 あなたは、とこしえに彼を祝福し、御前の喜びで彼を楽しませてくださいます。

21:7 まことに、王は【主】に信頼し、いと高き方の恵みによってゆるがないでしょう。

21:8 あなたの手は、あなたのすべての敵を見つけ出し、あなたの右の手は、あなたを憎む者どもを見つけ出します。

21:9 あなたの御怒りのとき、彼らを、燃える炉のようにされましょう。【主】は御怒りによって彼らをのみ尽くし、火は彼らを食い尽くすでしょう。

21:10 あなたは、地の上から、彼らのすえを滅ぼされましょう。また、人の子らの中から、彼らの子孫をも。

21:11 彼らが、あなたに対して悪を企て、たくらみを設けたとしても、彼らには、できません。

21:12 あなたは彼らが背を見せるようにし、弓弦を張って彼らの顔をねらわれるでしょう。

21:13 【主】よ。御力のゆえに、あなたがあがめられますように。私たちは歌い、あなたの威力をほめ歌います。

## はじめに

詩篇 21 篇は、詩篇 20 篇で祈っていた戦いにダビデ率いる軍が勝利した後で歌った賛美だと思われます。

ダビデは、具体的な祝福を求めて祈りました。そして、神はそれを与えてくださいました。

この賛美は、ダビデと軍に与えられた神の力への賛美で始まり、賛美で終わります。(1,13 節)

祈りが答えられたら必ず、神を心から賛美して答えてくださったことを認めるべきです。神は、ご自身の栄光のために人や状況を変えることがおできになるお方だからです。

今日この詩篇を学ぶにあたり、3 つの視点から見るのが役立つでしょう。

ひとつめは、武力で敵と戦うダビデについてです。

次に、イエス・キリストについてです。イエスは、ダビデの王座につき、この世を捕らえる悪の力と戦うために戦う王として来られます。

イエスは「この世を支配する者」を追放するために来られます。

**ヨハネ 12 : 27-32**

12:27 今わたしの心は騒いでいる。何と言おうか。『父よ。この時からわたしをお救いください』と言おうか。いや。このためにこそ、わたしはこの時に至ったのです。

12:28 父よ。御名の栄光を現してください。」そのとき、天から声が聞こえた。「わたしは栄光をすでに現したし、またもう一度栄光を現そう。」

12:29 そばに立っていてそれを聞いた群衆は、雷が鳴ったのだと言った。ほかの人々は、「御使いがあの方に話したのだ」と言った。

12:30 イエスは答えて言われた。「この声が聞こえたのは、わたしのためにではなくて、あなたがたのためです。」

12:31 今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。

12:32 わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。」

3 つめは、クリスチャンの信徒についてです。

私たちが自分自身の人生における霊的な戦いに勝つなら、イエスと勝利をともに分かち合えます。

今日は、詩篇 21 篇を 3 つに分けて学びましょう。

最初に、過去と詩篇 20 篇のダビデの祈りに対する神の答えについてです。(1-7 節)

次に、未来と神がダビデをとおしてなそうとしておられることについてです。(8-12 節)

最後に、神の全能の御力に対する賛美です。(13 節)

### 1. ダビデの祈りに対する答え(過去の勝利) - 1-7 節

詩篇 21 : 2 と 20 : 4 には関連性があります。

20 : 4 で、ダビデは自分の心の願いについて祈りました。そして、21 : 2 には、心の願いがかなえられたとあります。

21 : 4 でダビデは、神に命を守ってくださるように祈り、神がその願いをかなえられたと語ります。

神がダビデの上に注いでくださった祝福は、それ以前に神がダビデと交わされた契約に関わりがあります。

### サムエル第二 7 : 1-17

7:1 王が自分の家に住み、【主】が周囲のすべての敵から守って、彼に安息を与えられたとき、  
7:2 王は預言者ナタンに言った。「ご覧ください。この私が杉材の家に住んでいるのに、神の箱は天幕の中にとどまっています。」

7:3 すると、ナタンは王に言った。「さあ、あなたの心にあることをみな行いなさい。【主】があなたとともにおられるのですから。」

7:4 その夜のことである。次のような【主】のことばがナタンにあった。

7:5 「行って、わたしのしもべダビデに言え。【主】はこう仰せられる。あなたはわたしのために、わたしの住む家を建てようとしているのか。

7:6 わたしは、エジプトからイスラエル人を導き上った日以来、今日まで、家に住んだことはなく、天幕、すなわち幕屋にいて、歩んできた。

7:7 わたしがイスラエル人のすべてと歩んできたどんな所でも、わたしが、民イスラエルを牧せよと命じたイスラエル部族の一つにでも、『なぜ、あなたがたはわたしのために杉材の家を建てなかったのか』と、一度でも、言ったことがあるのか。

7:8 今、わたしのしもべダビデにこう言え。万軍の【主】はこう仰せられる。わたしはあなたを、羊の群れを追う牧場からとり、わたしの民イスラエルの君主とした。

7:9 そして、あなたがどこに行っても、あなたとともにおり、あなたの前であなたのすべての敵を断ち滅ぼした。わたしは地上の大いなる者の名に等しい大いなる名をあなたに与える。

7:10 わたしが、わたしの民イスラエルのために一つの場所を定め、民を住みつかせ、民がその所に住むなら、もはや民は恐れおのくことはない。不正な者たちも、初めのころのように重ねて民を苦しめることはない。

7:11 それは、わたしが、わたしの民イスラエルの上にさばきつかさを任命したころのことである。わたしはあなたをすべての敵から守って、安息を与える。さらに【主】はあなたに告げる。『【主】はあなたのために一つの家を造る。』

7:12 あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちとともに眠るとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。

7:13 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。

7:14 わたしは彼にとって父となり、彼はわたしにとって子となる。もし彼が罪を犯すときは、わたしは人の杖、人の子のむちをもって彼を懲らしめる。

7:15 しかし、わたしは、あなたの前からサウルを取り除いて、わたしの恵みをサウルから取り去ったが、わたしの恵みをそのように、彼から取り去ることはない。

7:16 あなたの家とあなたの王国とは、わたしの前にとこしえまでも続き、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。」

7:17 ナタンはこれらすべてのことばと、これらすべての幻とを、そのままダビデに告げた。

サムエル第一 16：1-13 からわかるように、神が羊飼いだった少年ダビデをお選びになったのは、その心をご覧になったからです。

外見はそれほど魅力的ではなかったかもしれませんが。彼はまだ少年で、羊飼いと身分の低い仕事をしていたのですから。

しかし、ダビデの心は神に向いていました。

ダビデは失敗もしましたが、心の底では神のみこころをなしたいと願っていました。

神は、ダビデの人格や行動を祝福されたわけではありません。

神がダビデを祝福されたのには、おもにふたつの理由があります。

まず、神の民に対するみこころと栄光を求める心をダビデが持っていたからです。

次に、神がダビデとその家系を祝福するという契約をされたからです。

神が御子イエス・キリストをとおして交わされた新約聖書の契約を信じる現代の私たちにとって、これはとても重要なポイントです。

後ほど、このことについて説明しましょう。

というわけで、ひとつめの視点は、祈りに答えてくださった神をダビデが賛美している姿です。

ふたつめは、イエス・キリストについてです。

1-7 節で、イエスがどこに示されているでしょう。

1 節で、ダビデは神の救いを大いに喜んでいました。

私たちは、イエスをとおして神が一人一人に与えてくださる救いを大いに喜びます。

イエス・キリストによる救いを心から神に祈り求めるなら、神は喜んでその祈りに答えてくださいます。イエス・キリストをとおして私たちを救うという契約を神がしてくださっているからです。

クリスチャンになると、イエスがなしてくださった御業によって、私たちは世界一祝福された人になります。

イエスのおかげで、神は私たちを祝福すると決めておられるのです。

まず、神はすでに私たちを祝福してくださいました。それは、罪の罰からの救いです。

私たちはもはや、永遠に罪の罰から解放されています。

人は皆、自分の罪に対する神の罰を受けて当然です。

イエスをとおして神の愛と赦しを得られるのは、ただ神の恵みによるのです。

次に、神は私たちのうちにある罪の汚れに対処することで祝福しようとしておられます。

神のみことばである聖書を読み、聖霊に従うなら、長年たまった罪の汚れから神が私たちをきよめてくださいます。

そうです。神のみことばと聖霊にきよめていただくなら、私たちは罪の汚れに勝つことができるのです。

さらに、私たちは罪の力にも勝つことができます。

クリスチャンになっても、悪魔は必死に私たちを束縛して引き留めようとします。過去の罪に引き戻されたり、過去に支配されていた悪癖を克服できなかつたりしたときに、そのようなことが起こります。

けれども、神に助けを求めて叫ぶなら、私たちは罪の力にも打ち勝てます。

神に助けを求めて叫ぶように祈り、神のみことばの約束を握って踏みとどまるのは、激しい葛藤です。

しかし、神のみことばに信仰を置き、聖霊の力に助けていただくなら、勝利を得られます。

神は、イエスのゆえに、ご自身の民を祝福しようとして決めておられるのです。

私たちが特別なわけではありません。すばらしいのは、イエスです。そして、十字架の死をとおしてイエスが勝ち取られた勝利がすばらしいのです。

十字架上でイエスが死なれたとき、罪の罰に勝利されました。それは、私たちに代わって私たちの罰を負って苦しみを受けられたからです。このお方は、私たちの身代わりのいけにえだったのでした。

### コリント第二 5 : 17-21

5:17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

5:18 これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。

5:19 すなわち、神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。

5:20 こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。

5:21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。

### ヨハネ第一 1 : 5-9

1:5 神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。

1:6 もし私たちが、神と交わりがあると言っているなら、しかもやみの中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであって、真理を行ってはいません。

1:7 しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

1:8 もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。

1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

クリスチャン人生に起こる戦いに勝つとき、私たちはイエスと勝利を分かち合えます。イエスが勝利されたので、私たちも勝利者となれるのです。

## **2. 未来の勝利とダビデの祈りに対する答え—8-12 節**

ダビデは、神が彼のために勝ち取ってくださる未来の勝利について語ります。

ここでは、「あなた」という単語が 8 度も登場します。

ダビデは、神ご自身が未来になしてくださる事柄に目を向けています。

ここで覚えておくべきことは、ダビデの人生についてです。彼の人生の大半は、彼を殺そうと企てたサウルからの逃亡生活と、敵陣から神の民を守るための戦いの日々でした。

8 節の、神の「右の手」という表現に注目してください。

神の右の手とは、単なる力の象徴ではありません。神の右の手が実際に神の民のために働き、敵を敗北に追い込みます。

### **詩篇 89 : 13**

89:13 あなたは力ある腕を持っておられます。あなたの御手は強く、あなたの右の手は高く上げられています。

### **詩篇 118 : 15-16**

118:15 喜びと救いの声は、正しい者の幕屋のうちにある。【主】の右の手は力ある働きをする。

118:16 【主】の右の手は高く上げられ、【主】の右の手は力ある働きをする。

### **申命記 5 : 15**

5:15 あなたは、自分がエジプトの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、【主】が力強い御手と伸べられた腕とをもって、あなたをそこから連れ出されたことを覚えていなければ

ばならない。それゆえ、あなたの神、【主】は、安息日を守るよう、あなたに命じられたのである。

「見つけ出す」と日本語の聖書で訳されたヘブル語の単語は、ただ見つけるという以上の意味があります。「処理する」という意味があるのです。

9節には、神が敵を飲み尽くし、食い尽くされるという信仰と確信をダビデが示しています。

11節では、「彼らが、あなたに対して悪を企て」と語ります。

つまり、ダビデ率いる軍に対する攻撃は、神ご自身に対する攻撃だということです。

ダビデは、神と神の目的に照準を合わせていたので、ダビデに対する攻撃は神に対する攻撃だと神がみなしてくださると悟っていました。

子どもを持つ親なら、わが子が誰かに傷つけられたら自分のことのように痛みを感じます。

それは、わが子を愛しているからです。神も、ご自身の子らを愛しておられます。

神の子が誰かに攻撃されたら、神ご自身が痛みを感じられるのです。

ダビデは、敵に対して決して自分から攻撃を仕掛けませんでした。彼は常に自身と軍を守るために戦いました。

サムエル記第二 7:16 で、神はダビデの家系がとこしえまでも続くと約束されました。

ですから、神はご自身の約束を守るために、ダビデを守らなければなりません。

サムエル記第一と第二からダビデの人生について学ぶと、神がダビデに戦いの勝利を幾度となく与えられたことがわかります。

次に、この世で起こり得る未来の戦いにイエスがどのように関わられるのか考えましょう。

まず理解しておくべきなのは、クリスチャンの信徒はこの世で武力による戦いをするのではないということです。

クリスチャンが現代の武力による戦いに参戦しているのであれば、毎年クリスチャンだというだけの理由で殺されている世界中の多くのクリスチャンは、戦いに負けたことになります。現在、世界中のイスラム教国で多くのクリスチャンが殺されていますが、イエスはなぜそのようなことを許しておられるのでしょうか。

なぜ神は勝利を与えてくださらないのでしょうか。

その理由は、神がすでに勝利を与えてくださっているからです。

私たちが直面する最大の敵は死です。そして、敵によって殺されたすべての信徒たちは、いつの日か死からよみがえり、新しい体をいただきます。そして、敵のいない完璧な世界で永遠に生きるのです。

### **黙示録 21 : 1-8**

21:1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

21:2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。

21:3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、

21:4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」

21:5 すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」

21:6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。

21:7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

21:8 しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。」

### コリント第一 15 : 20-28

15:20 しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。

15:21 というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。

15:22 すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。

15:23 しかし、おのおのにその順番があります。まず初穂であるキリスト、次にキリストの再臨のときキリストに属している者です。

15:24 それから終わりが来ます。そのとき、キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、国を父なる神にお渡しになります。

15:25 キリストの支配は、すべての敵をその足の下に置くまで、と定められているからです。

**15:26 最後の敵である死も滅ぼされます。**

15:27 「彼は万物をその足の下に従わせた」からです。ところで、万物が従わせられた、と言うとき、万物を従わせたその方がそれに含まれていないことは明らかです。

15:28 しかし、万物が御子に従うとき、御子自身も、ご自分に万物を従わせた方に従われます。これは、神が、すべてにおいてすべてとなられるためです。

この部分の学びを終える前に、神の子らのために神が戦われる未来の戦いについて、ひとつだけお伝えしたいことがあります。

聖書の神は全知、全能、偏在のお方です。

主権者なる神の目的のために誰かを死から守ることをみこころとされるなら、神はそのとおりになさるでしょう。

### 詩篇 31 : 15

31:15 私の時は、御手の中にあります。私を敵の手から、また追い迫る者の手から、救い出してください。

現代の宣教師が神に命を守られたという証はたくさんありますが、このメッセージはネットでも配信されるため、安全への配慮から、その内容をここでは紹介しないでおきます。けれども、何よりも励まされる証が聖書に記されています。

### 列王記第二 6 : 8-19

6:8 アラムの王がイスラエルと戦っていたとき、王は家来たちと相談して言った。「これこれの所に陣を敷こう。」

6:9 そのとき、神の人はイスラエルの王のもとに人をやって言った。「あの場所を通らないように注意しなさい。あそこにはアラムが下って来ますから。」

6:10 イスラエルの王は神の人が告げたその場所に人をやった。神の人が警告すると、王はそこを警戒した。このようなことは一度や二度ではなかった。

6:11 このことで、アラムの王の心は怒りに燃え、家来たちを呼んで言った。「われわれのうち、だれが、イスラエルの王と通じているのか、あなたがたは私に告げないのか。」

6:12 すると家来のひとりが言った。「いいえ、王さま。イスラエルにいる預言者エリシャが、あなたが寝室の中で語られることばまでもイスラエルの王に告げているのです。」

6:13 王は言った。「行って、彼がどこにいるかを突き止めなさい。人をやって、彼をつかまえよう。」そのうちに、「今、彼はドタンにいる」という知らせが王にもたらされた。

6:14 そこで王は馬と戦車と大軍とをそこに送った。彼らは夜のうちに来て、その町を包囲した。

6:15 神の人の召使いが、朝早く起きて、外に出ると、なんと、馬と戦車の軍隊がその町を包囲していた。若い者がエリシャに、「ああ、ご主人さま。どうしたらよいのでしょうか」と言った。

6:16 すると彼は、「恐れるな。私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから」と言った。

6:17 そして、エリシャは祈って【主】に願った。「どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」【主】がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。

6:18 アラムがエリシャに向かって下って来たとき、彼は【主】に祈って言った。「どうぞ、この民を打って、盲目にしてください。」そこで主はエリシャのことばのとおり、彼らを打って、盲目にされた。

6:19 エリシャは彼らに言った。「こちらの道でもない。あちらの町でもない。私について来なさい。あなたがたの捜している人のところへ連れて行ってやろう。」こうして、彼らをサマリヤへ連れて行った。

### 3. 神の全能の御力に対する賛美。—13 節

ダビデは戦って勝利したとき、自分の手柄だと言わずに、主をたたえました。ダビデにつき従っていた人々は、彼が神の栄光のためにすべてを成していたことを知っていました。

#### サムエル第一 2 : 30

2:30 それゆえ、——イスラエルの神、【主】の御告げだ——あなたの家と、あなたの父の家とは、永遠にわたしの前を歩む、と確かに言ったが、今や、——【主】の御告げだ——絶対にそんなことはない。わたしは、わたしを尊ぶ者を尊ぶ。わたしをさげすむ者は軽んじられる。

ダビデは若いときから、民のために戦い勝利してくださるお方として神を認識し、たたえる心の持ち主でした。

#### サムエル第一 17 : 33-51

17:33 サウルはダビデに言った。「あなたは、あのペリシテ人のところへ行って、あれと戦うことはできない。あなたはまだ若いし、あれは若い時から戦士だったのだから。」

17:34 ダビデはサウルに言った。「しもべは、父のために羊の群れを飼っています。獅子や、熊が来て、群れの羊を取って行くと、

17:35 私はそのあとを追って出て、それを殺し、その口から羊を救い出します。それが私に襲いかかるときは、そのひげをつかんで打ち殺しています。

17:36 このしもべは、獅子でも、熊でも打ち殺しました。あの割礼を受けていないペリシテ人も、これらの獣の一匹のようになるでしょう。生ける神の陣をなぶったのですから。」

17:37 ついで、ダビデは言った。「獅子や、熊の爪から私を救い出してください【主】は、あのペリシテ人の手からも私を救い出してください。」サウルはダビデに言った。「行きなさい。【主】があなたとともにおられるように。」

17:38 サウルはダビデに自分のよろいかぶとを着させた。頭には青銅のかぶとをかぶらせ、身にはよろいを着けさせた。

17:39 ダビデは、そのよろいの上に、サウルの剣を帯び、思い切って歩いてみた。慣れていなかったからである。それから、ダビデはサウルに言った。「こんなものを着けては、歩くこともできません。慣れていないからです。」ダビデはそれを脱ぎ、

17:40 自分の杖を手に取り、川から五つのなめらかな石を選んできて、それを羊飼いの使う袋、投石袋に入れ、石投げを手にして、あのペリシテ人に近づいた。

17:41 そのペリシテ人も盾持ちを先に立て、ダビデのほうにじりじりと進んで来た。

17:42 ペリシテ人はあたりを見おろして、ダビデに目を留めたとき、彼をさげすんだ。ダビデが若くて、紅顔の美少年だったからである。

17:43 ペリシテ人はダビデに言った。「おれは犬なのか。杖を持って向かって来るが。」ペリシテ人は自分の神々によってダビデをのろった。

17:44 ペリシテ人はダビデに言った。「さあ、来い。おまえの肉を空の鳥や野の獣にくれてやろう。」

17:45 ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、剣と、槍と、投げ槍を持って、私に向かって来るが、私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の【主】の御名によって、おまえに立ち向かうのだ。

17:46 きょう、【主】はおまえを私の手に渡される。私はおまえを打って、おまえの頭を胴体から離し、きょう、ペリシテ人の陣営のしかばねを、空の鳥、地の獣に与える。すべての国は、イスラエルに神がおられることを知るであろう。

17:47 この全集団も、【主】が剣や槍を使わずに救うことを知るであろう。この戦いは【主】の戦いだ。主はおまえたちをわれわれの手に渡される。」

17:48 そのペリシテ人は、立ち上がり、ダビデを迎え撃とうと近づいて来た。ダビデもすばやく戦場を走って行き、ペリシテ人に立ち向かった。

17:49 ダビデは袋の中に手を差し入れ、石を一つ取り、石投げでそれを放ち、ペリシテ人の額を打った。石は額に食い込み、彼はうつぶせに倒れた。

17:50 こうしてダビデは、石投げと一つの石で、このペリシテ人に勝った。ダビデの手には、一振りの剣もなかったが、このペリシテ人を打ち殺してしまった。

17:51 ダビデは走って行って、このペリシテ人の上にまたがり、彼の剣を奪って、さやから抜き、とどめを刺して首をはねた。ペリシテ人たちは、彼らの勇士が死んだのを見て逃げた。

## 適用

1. 神が私たちの祈りに答えられたら、それがどんな目的であったにせよ、神の全能の働きに対して、すべての賛美と栄光を神がお受けにならなくてはなりません。  
神の働きを自分の手柄にはいけません。
2. 神は神の子たちに勝利を与えて祝福することを望まれます。私たちの最大の敵は死であり、イエスは死に打ち勝たれました。そしていつの日か、私たちは死からよみがえります。私たちは新しい体と新しい命をいただきます。それは永遠のいのちです。永遠にふさわしい体で永遠に生きるのです。私たち自身がよみがえるという事実にも勇気ももらってください。私たちの地上の命には限りがありますが、永遠のいのちは永遠に続くからです。
3. 最後に、まだクリスチャンでない人たちには大きな課題があります。  
イエスをとおしてのみ、死に打ち勝ち、罪の赦しを得ることができます。心の中で、イエスに罪の赦しを求めるよう促されていると感じたなら、そして、イエスの弟子となる犠牲を払う覚悟ができたなら、どうか、礼拝終了後にリフトの看板のところまで来てください。聖書の神は、あなたが来るのを待っておられます。